

事 務 連 絡

令和 2 年 8 月 2 6 日

都道府県

各 指定都市 障害福祉主管部局 御中

中 核 市

厚生労働省社会・援護局障害保健福祉部企画課

共生社会フォーラム in 鹿児島の開催について

日頃より、障害保健福祉行政の適正な運営にご尽力いただき厚く御礼申し上げます。

共生社会フォーラムについては、「共生社会等に関する基本理念等普及啓発事業」に係る周知及び受講者の推薦について（依頼）」（令和 2 年 8 月 11 日付厚生労働省社会・援護局障害保健福祉部企画課長通知）においてお知らせしたところですが、今般、あらためて共生社会フォーラム in 鹿児島のご案内を送付いたします。

管内市区町村及び福祉施設等関係機関への周知にご協力をお願いいたします。

【事業担当者】

厚生労働省障害保健福祉部企画課 鈴木

TEL : 03-5253-1111（内線 3029）／FAX : 03-3502-0892

【事業受託者】

公益財団法人 糸賀一雄記念財団 事務局長 瀬古

TEL : 077-567-1707／FAX : 077-567-1708

e-mail : itoga@itogazaidan.jp

ウェブサイトからもお申込みいただけます ▶ <https://inclusive-society.net/>

【共生社会フォーラムin鹿児島 参加申込書】

ご記入いただいた個人情報は、本事業以外の目的には使用いたしません。

法人名 (事業所名) または学校名			
*コース①一般(基調講演等)の参加をご希望の方は、この欄は未記入でも結構です。			
連絡先	住所	〒	
	電話番号		FAX
	E-mail	@	

参加希望コース ※1	職名・肩書き／学部・学科・学年	参加者氏名
☐ ① 一般(基調講演等) ☐ ② 研修(中堅／学生・新任)		代表者(連絡窓口)
☐ ① 一般(基調講演等) ☐ ② 研修(中堅／学生・新任)		
☐ ① 一般(基調講演等) ☐ ② 研修(中堅／学生・新任)		
☐ ① 一般(基調講演等) ☐ ② 研修(中堅／学生・新任)		
☐ ① 一般(基調講演等) ☐ ② 研修(中堅／学生・新任)		
推薦欄 ※2	【第1分科会(中堅)の研修希望者がいる場合のみ】研修希望者は、福祉職・教員・行政職として <u>おおむね5年以上</u> の現場経験を有し、福祉施設・事業所・学校・自治体等の職場において <u>職員を指導・助言する立場にある</u> ことを保証し、また以下の理由で研修への参加を推薦します。 《推薦理由》 (推薦者)法人名等・役職・氏名	
	備考欄 ※情報保障やバリアフリー対応について配慮が必要な場合はこちらにお書き添えください。 状況によりご希望どおりの対応ができない場合があります。その際はあらかじめご連絡いたしますので、ご了承ください。	

※1 参加希望コース欄は、「一般／研修」いずれかにチェックを入れ、研修希望者は「中堅／学生・新任」いずれかに○をつけてください。

※2 研修(第1分科会)参加希望者は、所属の施設・事業所、社会福祉協議会、社会福祉法人経営者協議会、学校長・教育委員会、自治体等から推薦を得てください。

(公財)糸賀一雄記念財団 FAX: 077-567-1708 E-mail: itoga-oubo@itogazaidan.jp

〒525-0072 滋賀県草津市笠山7丁目8-138 滋賀県立長寿社会福祉センター内 TEL: 077-567-1707

【厚生労働省主催】 令和2年度 共生社会等に関する基本理念等普及啓発事業

共生社会 フォーラム

福祉の思想に学び、実践し、語る人に
《2020 | 九州・沖縄ブロック》

in
鹿児島

基調講演 奥田知志氏 認定NPO法人抱樸 福森伸氏 しょうぶ学園

令和2年 9月29日(火)～30日(水)

会場: かごしま県民交流センター

参加定員: 84名 / 参加無料【要申込】

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、マスク着用、手指消毒、検温への

ご協力をお願いします。また、発熱がある場合はご欠席ください。

また、感染状況により、両日ともプログラムの内容は変更になる場合があります。

実施 公益財団法人糸賀一雄記念財団、共生社会フォーラムin鹿児島開催委員会(構成団体は以下)
鹿児島市知的障害施設連絡協議会/社会福祉法人ゆうかり/社会福祉法人南高愛隣会/社会福祉法人はる/NPO法人さんえす/
九州ネットワークフォーラム

申込・問合せ 公益財団法人 糸賀一雄記念財団 HP <https://inclusive-society.net/>

〒525-0072 滋賀県草津市笠山7丁目8-138 滋賀県立長寿社会福祉センター内

TEL 077-567-1707 FAX 077-567-1708 E-mail itoga-oubo@itogazaidan.jp

全ての国民が、障害をはじめとする生きづらさの有無によって分け隔てられることなく、人の尊厳の輝きを認め合いながらともに生きる共生社会の実現が求められています。しかしながら、社会の一部には、障害を有する方に対する否定的な意見や偏見が一定数存在することを踏まえ、共生社会を実現させるためには、その基本理念について福祉分野をはじめ広く社会に普及させる必要があります。誰もが等しく基本的人権を享有するかけがえのない個人として尊重されるものであるという理念等について学び、自らの実践につなげ、さらには所属や地域社会に向けて普及啓発していく人材の養成研修を組み込んだフォーラムを実施します。

プログラム 共生社会フォーラムin鹿児島は大きく2つのプログラムに分かれています。

【コース①一般参加】 基調講演やトークプログラム

基調講演では共生社会の実現に向けて先駆的に取り組みを推進する2人の実践者からお話をうかがいます。映像&トークでは、日本の障害福祉の父と言われる「糸賀一雄」の思想と実践についてお話をうかがいます。

*1日目14:15までのプログラムにご参加いただきます

【コース②研修参加】 共生社会における語り部等養成研修

津久井やまゆり園事件を契機に、福祉に携わる人々の資質や対話のあり方が問われています。研修では福祉施設で職員を指導・助言する立場にあり共生社会の基本理念を語り広める「福祉支援語り部」を養成する第1分科会、福祉分野に関心を持つ学生や福祉職新任者の方を対象とする第2分科会に分かれてのグループワーク研修を行います。

*2日間すべてのプログラムにご参加いただきます

参加申込方法・定員 ウェブサイトからお申し込みいただけます。

申し込みは、コース①のみ参加の「一般参加」とコース①・②両方に参加する「研修参加」の2種で、いずれも事前の申込が必要です。ウェブサイト、もしくは裏面申込書の必要事項を記入の上、FAXまたはメールでお申し込みください。「一般参加」に参加条件はありませんが、「研修参加」は右の条件を満たす方が対象です。また、研修参加者には事前に資料をお送りします。あらかじめ資料を読んで研修に臨んでください。

<第1分科会>福祉支援語り部(中堅)

福祉職や教員および行政職としてとしておおむね5年以上の現場経験を有し、職場で中堅職員、管理者等として職員を指導・助言する立場にある人。研修を経て共生社会の基本理念を職場内で実践し、語り広めることが期待できる人で、所属の施設・事業所、社会福祉協議会、社会福祉法人経営者協議会、学校長・教育委員会、自治体等から推薦された人。

<第2分科会>学生・新任者

在籍する学部等を問わず、福祉に強く関心がある大学生等。または、福祉施設・事業所等に就職しておおむね数年以内の新任者や内定者。

定員：コース①60名 / コース②24名(第1分科会16名/第2分科会8名)

申込受付期間：令和2年8月3日(月)～令和2年9月18日(金) ※定員になり次第、締め切りとします。

会場アクセス

かごしま県民交流センター
JR「鹿児島」駅より 徒歩約10分
市電「水族館口電停」より 徒歩約4分
バス「水族館口」より 徒歩約5分
鹿児島市山下町14-50 TEL 099-221-6600



講師プロフィール



福森 伸氏 知的障がい者支援施設しょうぶ学園 統括施設長

1959年鹿児島県生まれ。1983年より障がい者支援施設「しょうぶ学園」に勤務。木材工芸デザインを独学し、1985年「工房しょうぶ」を設立。「衣食住+コミュニケーション」をコンセプトに、工芸・芸術・音楽等、知的障がいをもつ人のさまざまな表現活動を通じて多岐にわたる社会とのコミュニケーション活動をプロデュースしている。2019年初の著書「ありのままがあるところ」(晶文社)を上梓。



奥田 知志氏 認定特定非営利活動法人抱模 理事長

1963年滋賀県生まれ。関西学院大学・大学院卒。東八幡キリスト教会牧師、NPO法人抱模理事長、NPO法人ホームレス支援全国ネットワーク理事長、公益財団法人共生地域創造財団代表理事、一般社団法人生活困窮者自立支援全国ネットワーク代表理事、一般社団法人全国居住支援法人協議会共同代表。NHK「プロフェッショナル仕事の流儀」に出演。著書多数。



大平 眞太郎氏 滋賀県健康医療福祉部障害福祉課 副参事

1975年大阪府生まれ。2001年より(社福)びわこ学園に入職。重度障害者への直接支援、相談支援業務に従事。2011年(社福)滋賀県社会福祉事業団(現グロー)に入職。相談支援事業の基盤整備事業(県委託)を担当。2016年厚生労働省障害福祉課に相談支援専門官として着任。2019年より現職。相談支援体制整備及び次期障害者プランの策定業務を担当。

スケジュール

▶▶ 1日目 令和2年9月29日(火) ※コース①は、14:15まで

コース①・②対象	10:00 - 10:05	開会あいさつ
	10:05 - 11:00	基調講演①「ありのままがあるところ」 知的障がい者支援施設しょうぶ学園 統括施設長 福森 伸氏
	11:00 - 12:00	基調講演②「いのちに意味がある ～私たちは何を大切にしてきたのか～」 認定特定非営利活動法人抱模 理事長 奥田 知志氏
	13:00 - 14:15	映像&トーク「糸賀一雄最期の講義」「この子らを世の光に」 滋賀県健康医療福祉部障害福祉課 副参事 大平眞太郎氏
14:30 - 17:30 コース②対象		グループワーク研修①(第1分科会「福祉支援語り部」グループ/第2分科会「学生・新任者」グループ) いずれの分科会でも福祉の思想・普遍的価値の共有を目的として、基調講演や映像&トークプログラムを題材に、個人の内面に向き合うワークとグループディスカッションを行います。

▶▶ 2日目 令和2年9月30日(水) ※コース②の受講者のみ対象

9:30 - 12:00 コース②対象	グループワーク研修②(第1分科会「福祉支援語り部」グループ/第2分科会「学生・新任者」グループ) 第1分科会では、やまゆり園での事件を題材に、“生きる意味のない命がある”“障害者は社会に不幸をもたらすだけ”という考えに同調する意見などに返す言葉をもつためのワークを行います。第2分科会では、社会福祉法人西宮市社会福祉協議会の職員でNHK Eテレ「バリバラ」の出演などで知られる玉木幸則氏とともに、“そもそも障害とはなんだろう?”をテーマに率直に語り合います。
13:00 - 15:30 コース②対象	グループワーク研修③(第1分科会「福祉支援語り部」グループ/第2分科会「学生・新任者」グループ) 第1分科会ではグループワーク研修①や②を踏まえて、それぞれが自らの職場に戻って語りの場を持つことができるよう、メンターのサポートを受けながらアクションプランを作成します。第2分科会では、グループワーク研修②の議論を引き継ぎながら、玉木幸則氏とともに、“学生一人ひとりが抱える生きづらさ”を言葉にしながら、“福祉=幸せの追求”や“そもそも人が生きること”について、向き合います。
15:30 - 16:00	全体共有・講評/まとめ・ふりかえり/閉会あいさつ

※新型コロナウイルス感染状況により、両日ともプログラムの内容は変更になる場合があります。